

心線接続用コネクタの導入経緯

History of introduction of connectors for fiber splicing

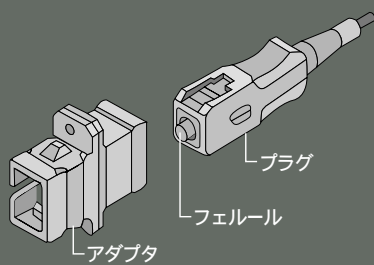
単心用と多心用がある心線接続用コネクタは、先に単心用コネクタの開発を進め、FCコネクタ、SCコネクタなどを実用化した。

一方で、多心テープファイバケーブルの開発が始まると、オールプラスチック製の多心用コネクタの開発も進め、MTコネクタなどを実用化した。

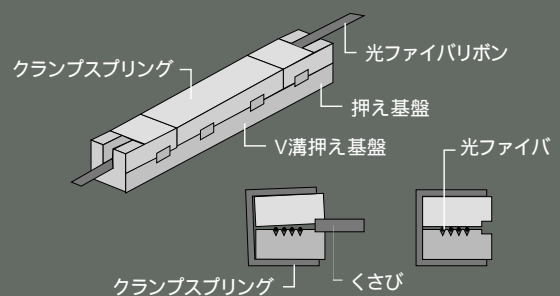
- 1983年 シングルモードファイバ用無調心型FCコネクタを世界で初めて実現
GI型単心接続用SFコネクタの実用化
- 1986年 GI型5心一括接続用MFコネクタの実用化
- 1988年 SM型4・8心テープ心線接続用MTコネクタの実用化
- 1991年 SM型2・4・8心テープ心線プッシュオン / プルオフ差着脱接続用MPOコネクタの実用化
- 1995年 低損失MTコネクタの実用化
- 1997年 小型メカニカルスプライスの実用化

コネクタの構造

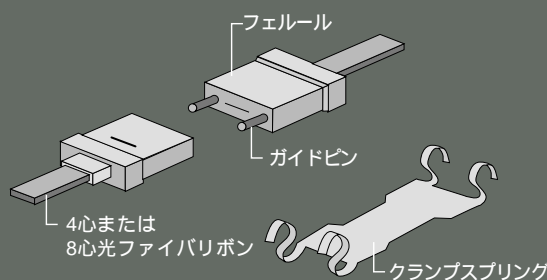
Structure of connector



単心光コネクタ (SCコネクタ)



小型メカニカルスプライス



多心光コネクタ (MTコネクタ)